

平成30年4月1日  
校長 決 定

## 平成30年度東京都立総合工科高等学校（定時制課程）学校経営計画

### 1 目指す学校像

#### (1) 学校の教育目標

- 創 造** (Create) : 実験・実習などの体験的学習を通して、科学技術やものづくりの不思議さや面白さを体感し、広い視野から自然や社会とのつながりの中で考える力を育成する。
- 探 求** (Career) : 個性を伸ばし、自己について探求し、自己の進路を切り拓くことのできる自己実現力を身に付けさせ、将来のスペシャリストを育成する。
- 協 同** (Cooperate) : 心身健やかであり、特別活動やボランティア活動などの諸活動を通して、規範意識をもち、他者と協調し、国際社会に貢献できる豊かな人間性を育成する。

#### (2) 目指す学校像

学校の教育目標を達成するために、教職員が一致団結し、「魅力ある総工づくり」を意識した学校経営と経営参画を行うことによって、次に示す学校像の実現をめざす。

- ① 確かな学力と工業技術の基礎・基本を身に付け、将来日本の工業界を支える技術者としての人材を育成する学校
- ② ものづくりの面白さを体験すると共に社会や企業が必要とする工業についての確かな技術を有する人材を育成する学校
- ③ 国際化、情報化など大きく変化する社会に対応して、将来国際社会で活躍することができる技術者を育成する学校
- ④ 「生活指導の徹底なくして授業規律の確立なし、授業規律の確立なくして学力・技能の向上なし、学力・技能の向上なくして進路実現なし」をスローガンに、教職員が一丸となった生活指導を行うことによって、規律ある生徒を育成する学校

#### (3) 平成30年度学校経営の重点

「魅力ある総工づくりのために」

- ① 生 徒：認める・鍛える・伸ばす
- ② 保護者：説明責任
- ③ 教職員：チームワーク
- ④ 中学生：入選応募倍率の回復

### 2 中期的目標と方策

(1) 確かな学力を身に付ける工業系専門高校としてのコンセプトを確立する

ア 上級学校への進学を可能とする教育活動を推進し、その取組みを広く中学校や地域に周知する。

イ 「授業で勝負する」教員のプロ意識を高め、教員の授業力を向上し、生徒の学力向上につなげる。また、生徒の主体的・対話的な深い学びを引き出すために、相互授業参観や授業観察等と関連させながら、アクティブ・ラーニング型の授業づくりを推進する。

ウ 資格取得の指導や各種競技会への参加など、専門教科・科目の教育活動の成果を、推薦入試やAO入試などの上級学校進学に積極的に活用する。

エ 学校説明会、中学校訪問、ホームページの更新などの募集・広報活動を積極的に行い、中学校の生徒や教職員、地域や都民の方々へ本校の趣旨や内容の理解を推進する。

(2) 部活動を核とした特別活動を充実させ、活気あふれる学校づくりを推進する

ア 本校の恵まれた校地や施設・設備を活用した、魅力ある部活動を推進する。

イ スポーツや工業分野において優れた能力をもつ生徒の個性を一層伸長させ、本校の特色化を推進する。

ウ 学校行事を活性化させ、本校生徒としての自覚と誇りを涵養し、生徒の健全育成を推進する。

(3) 工業系専門高校としての、特色ある教育活動を充実・発展させる

ア ものづくりを軸に、外部機関や地域などと連携した特色ある教育活動を充実させる。

イ 将来国際社会で活躍できる技術者育成のため、国際理解教育を充実させる。

ウ 専門科目の実習や課題研究に探究の視点（発見する力・考える力・調べる力・まとめる力・表現する力の育成）を取り入れ、「AI失業時代に生き残る工業教育」を推進する。

エ 工業科・各コースごとの「目指す生徒像」を明確に打ち出し、工業人としての腕（技術、資格）と心（誇り、自信）は工業科が核になって育成する。

(4) 生活指導を充実させ、規律ある学校に変革を図る。

ア 全教職員が共通理解のもとに一致団結し、授業規律を確立させる。

イ 生徒の問題行動等に対しては、生活指導部を中心にフローを明確にした組織的な対応を行う。

ウ 「社会に有意な工業人を育成する」という責任と使命感をもって生徒を鍛え、学校全体として毅然とした生活指導を実施する。

### 3 今年度の取組目標と方策

(1) 学習活動

目標：基礎・基本の定着と学力向上策の推進		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
① 「総工学カスタンダード」によ	教務部	・学力テスト各教科目標値以上

る基礎・基本の定着【1-1】	全教員	
② スローラナーに対するきめ細かな学習指導【1-2】	教務部 全教員	・学力不振による中途退学者 10 名以下 ・学力向上取組シート 4 回
③ 到達目標を設定した本校独自の学力テスト実施【1-3】	教務部	・学力分析会 1 回
④ 「総工技能スタンダード」に基づいた技術・技能の定着【1-4】	工業部	・技能スタンダード達成率 80%
⑤ 普通教科の組織的・横断的な指導や授業力向上の推進【1-5】	教務部	・普通教科会年 10 回以上 ・学力向上取組シート年 4 回
⑥ 授業力向上のための相互授業参観の実施【1-6】	教務部 全教員	・全・定合同の校内研究授業 10 回以上 ・授業参観シートの提出 2 回
⑦ 生徒の主体的・対話的で深い学びを引き出すアクティブ・ラーニング型の授業の推進【1-7】	各教科	・アクティブ・ラーニング型の授業観察 年 2 回以上 ・AL 蔵書コーナー 70 冊以上
⑧ 長期休業中に生徒のニーズに応じた講座を開講【1-8】	教務部	・25 講座 ・受講生徒 250 名
⑨ 放課後や長期休業日を活用した資格取得指導の推進【1-9】	工業部	・工業系資格取得 30 名
⑩ 数学技能検定、漢字能力検定、英語検定等への取組みの推進【1-10】	各教科	・検定合格者合計 20 名以上 ・総工マイスター週 4 回
⑪ 読書活動の推進【1-11】	教務部	・未読率 0 % ・「総工羅針盤」の改訂
⑫ 主権者教育の推進【1-12】	教務部	・有権者生徒の投票率 70%以上
⑬ オリンピック・パラリンピック教育の推進【1-13】	保健体育科	・参加体験型講演会 1 回
⑭ 専門科目の実習や課題研究に「探究」の視点（発見する力・考える力・調べる力・まとめる力・表現する力の育成）を導入【1-14】	工業科	・探究の視点を取り入れた授業観察 年 2 回以上

## (2) 生活指導

目標：生徒自ら規律・規範を身に付けさせる生活指導の確立		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
① 特別指導件数の減少【2-1】	生活指導部	・特別指導件数 15 件以内

	全教員	
② 生徒相談体制の充実【2-2】	生活指導部 保健相談委員会 養護教諭	・新入生のスクールカウンセラー面接 1回 ・生徒情報交換会4回
③ 「一枚岩」の生活指導による授業規律の確立【2-3】	生活指導部 全教員	・チャイム始業の徹底 ・授業中のスマホ0 ・授業時の挨拶の徹底
④ 経営企画室と連携した校内美化体制の確立【2-4】	生活指導部	・特別清掃（美化日）3回 ※一般技能業務と連携
⑤ 交通安全指導（自転車、オートバイ）の徹底【2-5】	生活指導部	・交通安全教室1回 ・重大事故0件
⑥ 情報モラル指導の充実【2-6】	生活指導部	・セーフティ教室等1回
⑦ 薬物乱用防止教室の実施【2-7】	生活指導部	・薬物乱用事故0件
⑧ いじめ総合対策に基づいた組織的な対応【2-8】	生活指導部	・いじめによる中途退学0人
⑨ 体罰、不適切な指導の根絶【2-9】	全教職員	・体罰0件、暴言0件 ・校内研修3回
⑩ 特別支援教育への対応【2-10】	担任 生活指導部 養護教諭	・ケース会議、情報交換会 ・SCとの連携 (必要に応じて)
⑪ 遅刻指導の徹底	全教員	・始業5分前SHRの新設（毎日）

### (3) 進路指導

目標：キャリア教育と個に応じた進路指導の充実による進路決定率100%の実現		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
① キャリア教育の充実【3-1】	進路指導部	・進路ガイダンス月1回
② 生徒一人一人に応じた進路指導の充実【3-2】	進路指導部	・進路決定率100%
③ 生徒の適性に合った就職指導の充実【3-3】	進路指導部 第4学年 全教員	・就職希望者の内定率100%
④ 計画的な個別面談・三者面談の実施【3-4】	各学年	・個別面談等年2回以上
⑤ 入学から卒業までを俯瞰した	進路指導部	・「進路のしおり」の改訂・作成

進路指導体制の確立【3-5】		
⑥ 生徒のプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の育成【3-6】	進路指導部	・講習または講演会、面接指導等を1回以上

(4) 特別活動・部活動

目標：奉仕体験活動や部活動の活性化による活気あふれる学校づくり		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
① 部活動の推進【4-1】	生活指導部	・部活動加入率 100%
② 学校行事を通じた活気ある学校づくりの推進【4-2】	生活指導部	・生徒の満足度 70%以上
③ 地域と連携した奉仕体験活動の推進【4-3】	工業部	・「ものづくり教室」、「せたがや産業フェスタ」生徒参加率 100%
④ 礼節や愛校心・帰属意識の涵養【4-4】	生活指導部 全教員	・礼法指導 ・校歌指導（儀式的行事ごと） ・年間を通じた昇降口指導

(5) 健康・安全

目標：健康づくりと防災・安全指導の推進		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
① 安全指導の推進【5-1】	生活指導部	・安全指導に関する研修 3回
② 生徒の健康づくりの推進【5-2】	生活指導部	・健康指導 1回以上
③ 学校給食を通じた食育の充実【5-3】	栄養士	・給食に関する重大事故 0件
④ 学習環境の整備と計画的な維持・管理【5-4】	生活指導部	・生徒の安全に係る施設・設備の点検 3回
⑤ 関係機関や地域と連携した防災訓練の実施【5-5】	生活指導部	・校内体制マニュアルの改訂 ・全日制との共同防災訓練 1回 ・避難訓練 4回 ・防災活動支援隊編成
⑥ 「アクティブプラン to 2020」に基づく体力向上の取り組みの推進【5-6】	保健体育科	・体カテスト都・全国の平均値以上
⑦ 自殺防止対策の推進	生活指導部	・自殺防止教室 1回

(6) 募集・広報活動

目標：定時制課程の意義を踏まえた募集活動の充実		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
① 応募倍率の向上【6-1】	進路指導部	・入学者 30 名以上 ・中学生向け「総合工科高定時制新聞」発行 5 号、中学校 220 校配布
② 中学校と連携した広報活動の推進【6-2】	進路指導部	・中学校訪問 30 校 ・14 教育委員会
③ ホームページによる情報発信の充実【6-3】	ホームページ委員会	・ホームページ更新 50 回以上
④ 地域交流の推進	工業部	・親子ものづくり教室への参加者 15 名

(7) 学校経営・組織体制

目標：「団体戦」を意識した学校経営の推進		
方策（下位目標）	主担当	数値目標
① 分掌・学年等の取組目標の「見える化」と PDCA サイクルの実施【7-1】	各分掌主任 各学年主任 工業科長	・重要課題取組シートの活用 年 3 回
② OJT 診断基準、執務ガイドラインを活用した人材育成の推進【7-2】	主幹教諭 主任教諭	・主任教諭育成実践プログラム 3 回 ・OJT 自己診断シート 年 1 回
③ 情報セキュリティにかかわる規定の厳守【7-3】	教務部	・個人情報紛失事故 0 件 ・クリーンデスクの徹底
④ 経営参画ガイドラインに基づいた経営企画室の経営参画【7-4】	経営企画室	・校内手続きマニュアルの整備 ・自律経営予算の執行率 60%
⑤ 経営企画室の確実な執務執行【7-5】	経営企画室	・現物照合リストの整備・更新 ・学校徴収金の適正執行 ・文書保存の一元化 ・会計事故 0 件
⑥ 全・定の学校運営における連携の推進【7-6】	経営企画室	・全・定連絡会 3 回
⑦ 自己申告目標を通じた学校経営計画の具現化【7-7】	全教職員	・学校経営計画との関連を明確にした自己申告面接 年 3 回
⑧ 服務事故を「しない・させない・許さない」職場づくり【7-8】	全教職員	・服務事故 0 件 ・校内研修年 3 回以上
⑨ 企画調整会議を中心とした意	企画調整会	・企画調整会議 毎週

思決定の徹底【7-9】	議	・起案による意思決定の徹底
⑩ プロジェクトチームによる 眉の課題の迅速な対応【7-10】	主幹教諭	・適宜
⑪ ミドルマネジメントによる 略的な学校経営の推進【7-11】	主幹教諭	・主幹会議年 10 回
⑫ ライフ・ワーク・バランス実現 に向けた会議等のスリム化	全教職員	・職員会議 原則月 1 回 ・45 分以内に終了